

静岡青年会議所らしさ



- 制度に囚われない自由な発想で事業を行うことができる。
- 自ら壁を作ることなく俊敏で柔軟な活動を行うことができる。
- 行政やOBなどからの寄付金や人的協力がなくても自立して事業を行うことができる

静岡青年会議所らしさを考え、明るい豊かな社会を創る目的を遂行できるのであれば一般社団法人でも公益社団法人でも構わない。

「紙を切るのに、カッターでもハサミでも手でも良い。目的は紙を切ること。」

一般社団法人だからこそ出来ることを大切にする。すなわち静岡青年会議所は公益事業にこだわらず、公益的事業を行いたい。

静岡青年会議所は現状をしっかりと見据え、また周りの動向も把握しながら、公益認定基準を満たす一般社団法人となり、将来静岡青年会議所が公益社団法人認定を取得するときがくるまで公益認定基準を満たす一般社団法人を選択した。

* 当時の各LOMが公益社団取得の方向に傾いていたなか静岡青年会議所の一般社団選択はキャピタルロムとして他LOMに大きな影響を与えた。